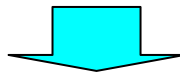


1. 提案の概要

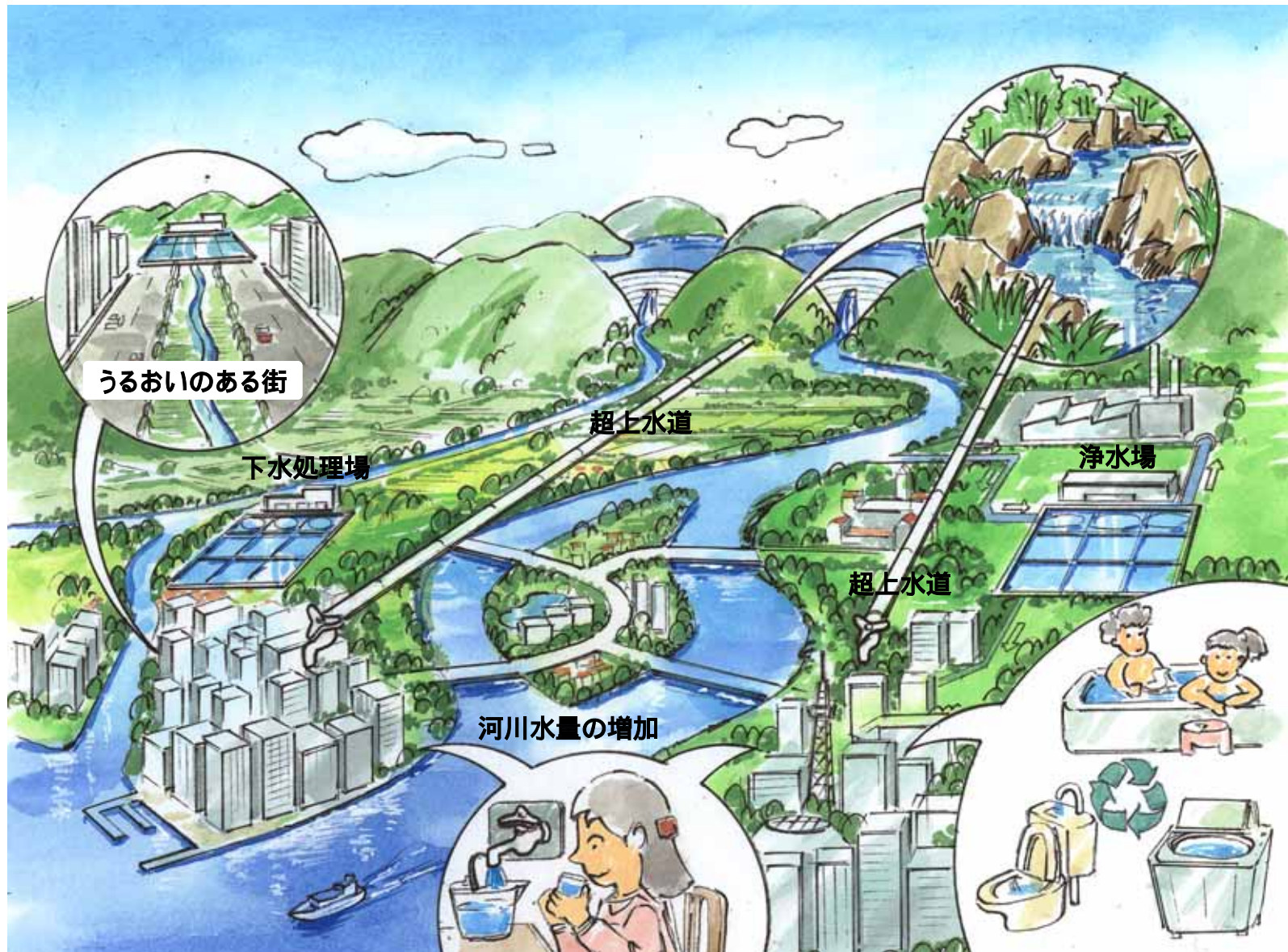
超上水道の整備・・・おいしい水道水
家庭でいつでもミネラルウォーターが飲める

中水道の整備・・・水の再利用が一般的な社会の実現
河川の取水量を減少することができる
⇒ 河川の水量増加

処理水によるせせらぎ整備・・・うるおいのある街
都心で水に親しめる癒しの空間



水の豊かな日本



うるおいのある街

下水処理場

超上水道

浄水場

超上水道

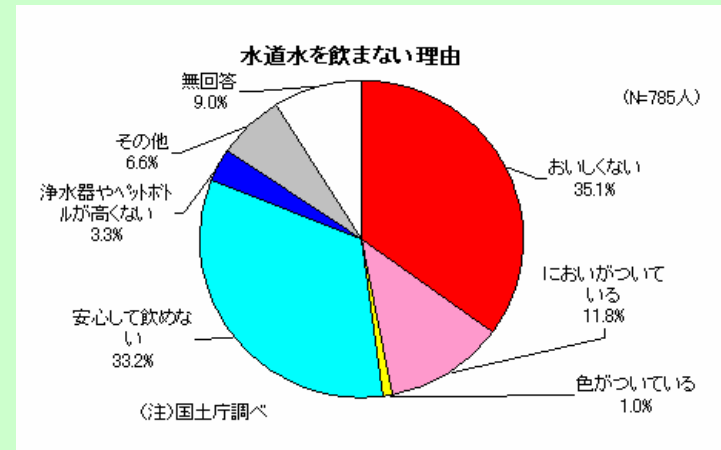
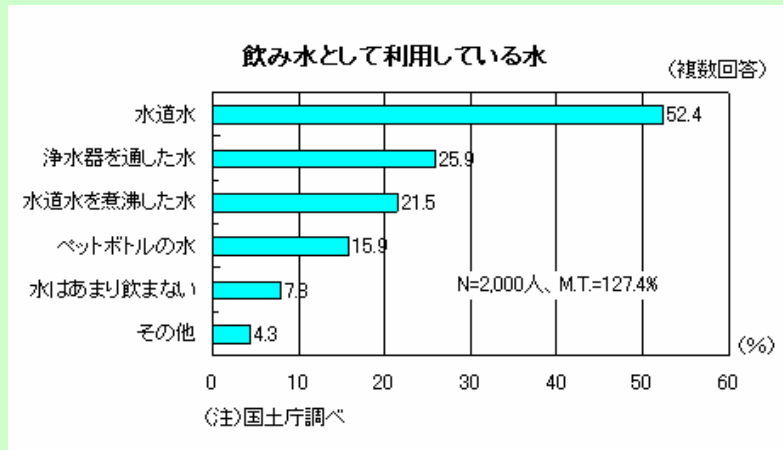
河川水量の増加

おいしい水

水の再利用

2. 提案の背景

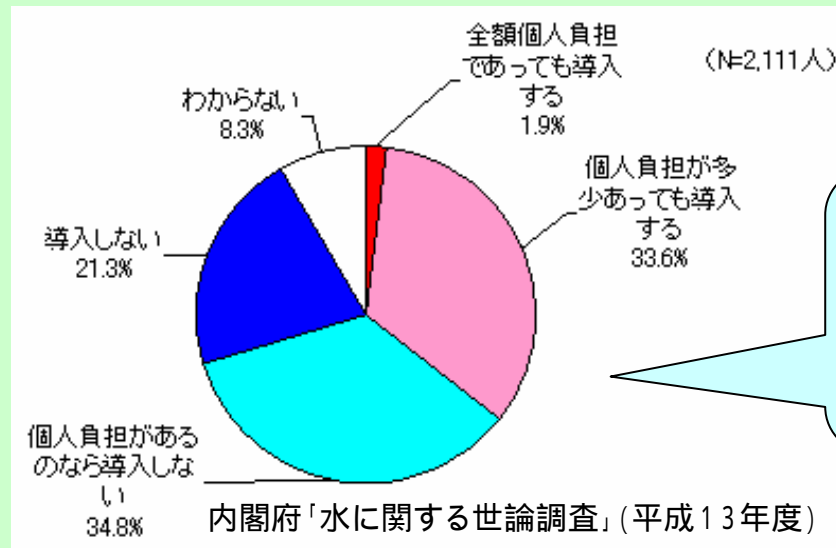
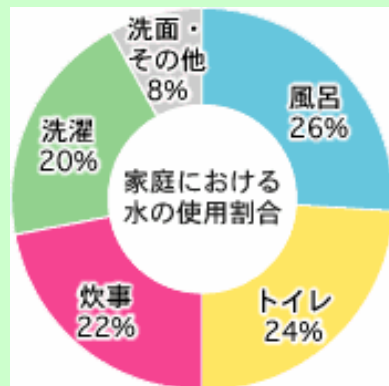
・水道水はそのまま飲用されていない。(超上水道化が必要)



・家庭の水の44%が再利用水で対応可能

再利用水の家庭への導入意志調査

洗濯20% + トイレ24% = 44%



個人負担が無いと仮定すると全体の約70%の国民が雑用水や雨水の家庭への導入の意志がある。

3. 提案の効果

家庭でおいしい水が飲める

中水道の整備により年間約60億m³の水源への負荷削減

日本全国的生活用水使用量は、年間144億m³ であり、すべての洗濯・トイレに再生水を使うと

$$144\text{億m}^3 \times 44\% = 63.36\text{億m}^3$$

国土交通省水資源部調べ(H12)

河川水量増加・水質向上により豊かな生態系

余剰水の輸出も可能

せせらぎの整備により都心で水に親しむことが可能

4. 実現のためのシナリオ

- ・水質(味・におい・安心)を落とさない超上水道ラインの整備
- ・中水道の整備(個人に負担をかけない)
- ・せせらぎの整備